

(様式第2号)

団体概要書

(その1)

団体名	(ごおうみどりのきしだん) 蔵王緑の騎士団	団体の種別 (○をつける)	NPO法人 ○各種団体 連合体
主たる事務所の所在地	〒999-3115 ト山市高野字念仏檀 107-6	連絡先	電話 080-6053-2708 FAX eメール konno@krc.biglobe.ne.jp
代表者職・氏名	(おかざきこういち) 団長 岡崎 紘一	会員数等	個人会員数 32人 団体会員数 賛助会員数 専従職員数 団体人 人
設立年月(活動開始年月)	平成17年10月	(NPO法人の場合) 認証(認定)年月	年 月
団体の設立目的	蔵王山を中心とする森林環境保全活動		
活動分野	※下記「活動分野」から1つずつ選択 【主たる分野】 環境の保全 【従たる分野】 子どもの健全育成	主な活動地域	上山市及び山形市
これまでの活動実績	<p>(主なもの) ※活動年月・活動内容がわかるように簡条書きで記載してください。</p> <p>令和5年2月 自然観察(冬) 令和5年3月 森林ボランティア養成講習会 令和5年4月 青少年支援、ワークショップ活動 令和5年5月 幼児森林散策支援、青少年支援 令和5年6月 自然観察(春) 森林パトロール、青少年支援 令和5年8月 こまくさ分校開放、坊平つつじ園整備 令和5年10月 自然観察(秋)、幼児森林散策支援</p> <p>※直近5か年の主な活動実績を記載してください</p> <p>(行政、企業、他団体との協働実績) ※活動年月・活動内容・協働相手がかかるように簡条書きで記載してください。</p> <p>令和5年3月 森林ボランティア養成講習会 国山形森林管理署 令和5年4、6月 青少年支援 東海大山形高等学校 令和5年5、10月 幼児森林散策支援 千歳認定こども園</p>		
事業年度	10月 1日 から 9月 30日		
ホームページ	有 (URL: ブログ名: こちら蔵王緑の騎士団です)		
機関紙	無		

- |                   |                |                  |
|-------------------|----------------|------------------|
| 1 保健・医療・福祉        | 8 災害救援         | 15 科学技術の振興       |
| 2 社会教育            | 9 地域安全         | 16 経済活動の活性化      |
| 3 まちづくり           | 10 人権擁護・平和の推進  | 17 職業能力開発・雇用機会拡充 |
| 4 観光の振興           | 11 国際協力        | 18 消費者の保護        |
| 5 農山漁村・中山間地域の振興   | 12 男女共同参画社会の形成 | 19 市民活動支援        |
| 6 学術・文化・芸術・スポーツ振興 | 13 子どもの健全育成    | 20 その他           |
| 7 環境の保全           | 14 情報化社会の発展    |                  |

<p>寄付を受けて取り組みたい事業の概要</p>	<p>※どのような課題解決のために、どのような事業を行いたいのか分かり易く記載してください。</p> <p>山形県は豊かな森林資源に恵まれています、その豊かな環境に触れる機会が年々減少していると思います。</p> <p>これまで森林環境を支えてきた山間地域も高齢化が進み、山の恵みである山菜等についても知る機会が少なくなっています。</p> <p>特に、幼少児や若い世代の山菜離れは顕著です。</p> <p>山菜は、究極の在来作物です。</p> <p>全ての栽培作物は、天然の山菜等がルーツです。</p> <p>山菜には「えぐみ・にがみ」がありますが、山菜の美味しさは、この「えぐみ・にがみ」です。幼少期にこの味を体験しないと、大人になっても山菜の味を知る機会は無くなってしまいます。</p> <p>現に、若い世代の山菜離れが進んで、幼児はなおさら進んでいます。</p> <p>このこのため、子供と家族を対象にした安心安全な食育の場として、無農薬・有機栽培の、仮称【蔵王こまくさ食育山菜園】を整備するものです。</p> <p>園地造成・植え付け体験・草取や管理体験・収穫体験・調理体験と、一連の体験を行います。</p>
<p>県民・企業へのPR</p>	<p>※県民・企業に向け、団体をPRするメッセージを記載してください。</p> <p>私たち「蔵王緑の騎士団」は、これまで成人を中心に、森林環境保全ボランティア活動を行ってきましたが、団員も高齢化が進み、年々活動を縮小しなければならない状況です。</p> <p>これまで団の活動は、個人主体で行ってきましたが、今後は広く県民・企業の方々を知って頂き、活動も広く賛同者を受け入れる必要があると考えています。</p> <p>この度の、山菜園を造成・開放する計画もその一環です。</p> <p>今まで、森林や山菜に興味や関心が無かった方々が、誰でも体験できる体験型山菜園を介して、森林の大切さや、食育として山の恵みを知る機会になればと思っています。</p> <p>蔵王緑の騎士団の活動の為の資金は、これまで県の緑環境税の活用や、団員の会費により運営しています。</p> <p>しかしながら、今回計画している体験型食育山菜園については、該当する補助事業等がありません。</p> <p>多くの県民や企業の皆様の応援をお願いしたいと思い、社会貢献活動促進基金団体登録申請をしました。</p>

この申請書に記載している事項に間違いはありません。

また、当団体は、山形県社会貢献活動促進基金実施要領第8条に規定する申請団体の要件を満たしています。

令和 6年 2月 9日

団体名 蔵王緑の騎士団  
代表者職氏名 団長 岡崎 紘一